

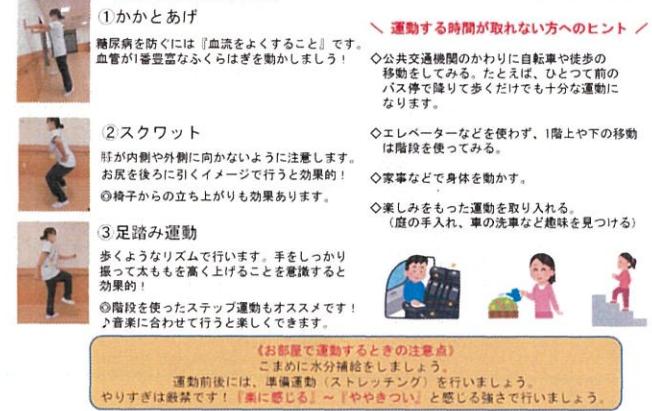


Topics  
1

# 世界糖尿病デー イベント 2020 in 滝沢中央病院

運動と糖尿病  
の関係みんなが健康的に過ごすために運動が必要と言われるのはなぜなのでしょうか？  
運動と糖尿病の関係を中心に運動が私たちのからだと健康にどのような効果がある  
でしょうか？

## お家 時間に運動を！ STAY HOME



## 世界糖尿病デーとは？？

WHOでは世界に拡がる糖尿病の脅威に対応するために、11月14日を世界糖尿病デーと定め日本を含む世界中で糖尿病の予防を広く呼びかけるキャンペーンを展開しています。

当院でも地域の方々に対し糖尿病への関心を高めてもらうため、数年前からチーム医療推進部会（糖尿病チーム）が中心となり、公開講座や糖尿病デーのイベントを行ってきました。前回はチーム医療推進部会による血糖測定、お薬相談、栄養相談、身体活動のチェックや滝沢市保険年金課による体組成測定、血管年齢測定などのブースを設け、糖尿病デーイベントを開催しました。これらのブースを体験していただくことにより、健康に対する関心を高めていただけたと感じています。そこで今回も同様の体験型ブースを設け、地域の方々にご参加いただきたいと思っていました。しかしコロナウィルスの流行に伴い感染予防を第一と考え体験型ブースを中止、ポスター展示をさせていただくことになりました。ポスターをご覧いただくことにより、糖尿病に少しでも関心を持っていただき予防に向けた第一歩の手助けになればと考えます。

今回の展示は終了しましたが、今後も開催していく予定です。期間は11月中旬～12月の予定です。展示場所は売店から外来待合室までの廊下です。お時間があるときにご覧いただけたなら幸いです。

## 食後高血糖を招きやすい習慣

- ・不規則な食事時間  
(食事を抜く・遅い時間に食べる)
- ・量が多い夕食
- ・間食・夜食をする
- ・早食い・トド食い
- ・アルコールの過剰摂取
- ・外食が多い

知っていますか？  
おやつのエネルギー量

## 食後高血糖を招きやすい食事

- ・糖質指数が高い食事
- ・食物繊維の少ない食事
- ・炭水化物を偏った食事
- ・糖分の多い飲料
- ・お菓子など

## ※実際のカロリーは製品によって異なります。

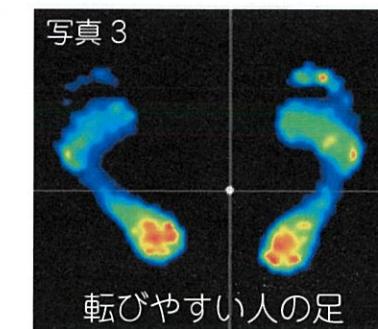
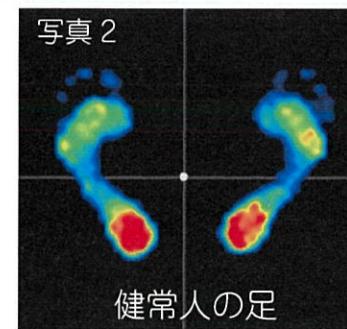


▲今年度展示した資料の一部です

Topics  
2

# 転倒予防で骨折・寝たきりを防ごう !!

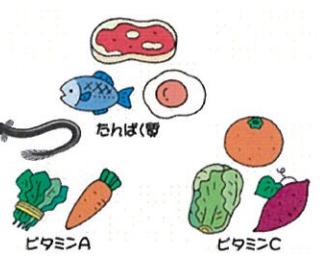
前回は、転倒予防に対する運動療法の一部をご紹介させていただきました。加齢とともに衰える運動機能の中でも、最も低下するのがバランス能力と言われます。特に60歳代では20歳代の3割、70歳代では2割程度まで低下するという報告もあります。当院では昨年度から重心動搖計によるバランス測定を入院・外来患者様に実施し歩行能力やリハビリ効果の評価に役立てております（写真1）。また、転倒には様々な要因が関連しておりますがその一つに足部の接地状況が関係していると言われています（写真2・3）。当院の装置はそちらも合わせて5分程度で計測できます。新型コロナ感染拡大が落ち着きましたら、当院での地域公開講座の一環として転倒予防教室等も開催していきたいと考えています。また、今回の記事に関する疑問がありましたらお気軽にリハビリテーション科までお問い合わせください。可能な限り、お電話や書面を通してご回答させていただきたいと思います。

Topics  
3

# かぜに負けない食事の食べ方

栄養科より

コロナウィルス感染症が大流行していますが、他の感染症に気をつけていきたいですね。  
手洗い・うがいはもちろんの事ですが、食事のとり方も大切です！  
かぜに負けない体を作る為にはどんな食事をとればいいのでしょうか？



## 1. 3食バランス良く食べましょう！

栄養が偏らないようにバランスのよい食事をとりましょう

- ・たんぱく質（魚介類・卵・肉・納豆・豆腐）…体力をつける
- ・ビタミンA（レバー・うなぎ・あなご・卵黄・ほうれん草）…鼻やのどの粘膜を強くする
- ・ビタミンC（キウイ・みかん・水菜・ブロッコリー）…ストレスに対する抵抗力を高める

## 2. 腸内環境を整える！

腸内細菌の乱れは免疫力を低下させます。  
ヨーグルト・納豆などの発酵食品、野菜類・海藻・きのこ類の食物繊維をたっぷりととりましょう。



## 3. 体を温める食材を食べる！

体を冷やさない工夫をしましょう。  
生姜・にんにく・とうがらし等は体を温めくれます。また、きゅうり・トマト・なす等は体を冷やしてしまいますので加熱して食べると良いです。

